

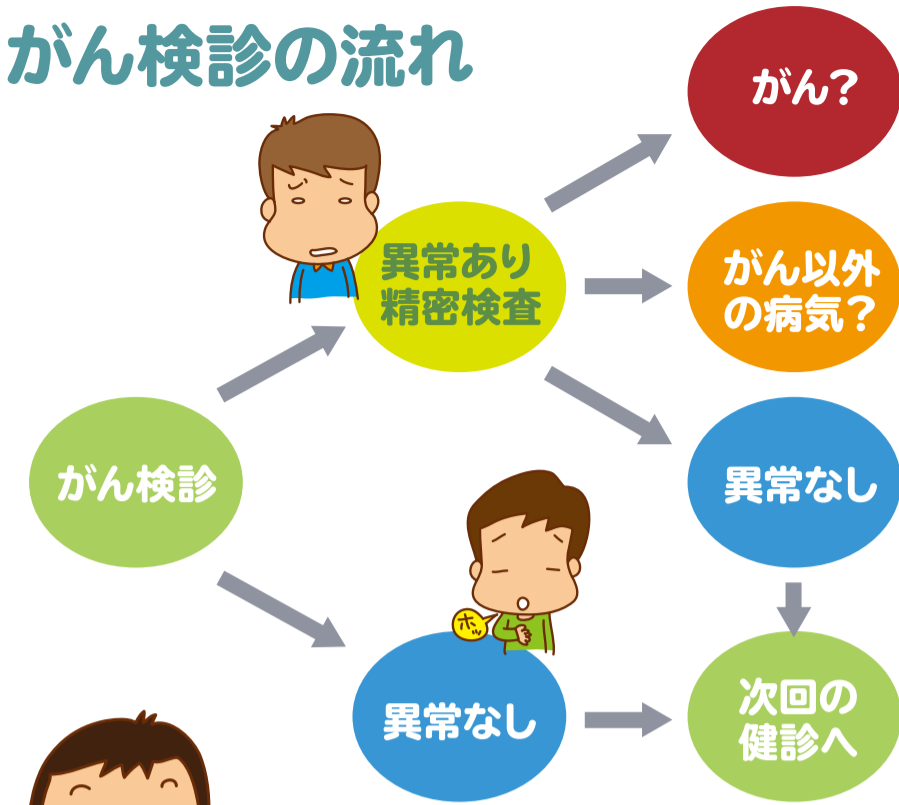
がん検診を受けましょう

本県では、「がん」による死亡が死亡原因の第1位を占め、およそ3人に1人は「がん」で尊い命を失っています。

しかし、目ざましい医療の進歩により、がんは早期発見することで治すことができるようになってきました。例えば、大腸がんの治療率は約70%ですが、早期発見の場合ほぼ100%完治します。

元気な時こそがん検診を受けましょう。症状が出てからでは、既にがんが進行している可能性があります。症状がないうちに検診を受け、「がん」を早期に発見し、治療することが大切です。

がん検診の流れ



がん検診について、詳しくはお住まいの市町村にお問い合わせください。
インターネットでの詳しい情報はこちらから

※詳しくは

がん・生活習慣病対策課 ☎017-734-9216

がん患者のQOL(生活の質)を支えます

がん地域連携パスの活用

「がんにかかっても、できるだけ住み慣れた地域で治療を受けたい」という思いに応えるため、医療・福祉の関係機関が連携して、切れ目のないサービスを提供する仕組みの一つとなる「がん地域連携パス」の試行的運用が、4月から始まっています。

がん地域連携パスとは

手術や放射線治療など、がんの専門的な治療を終えた後、地域で適切な医療や介護を受けられるように、患者と患者を支える医療・介護関係者が、治療状況などを共有するための計画書です。

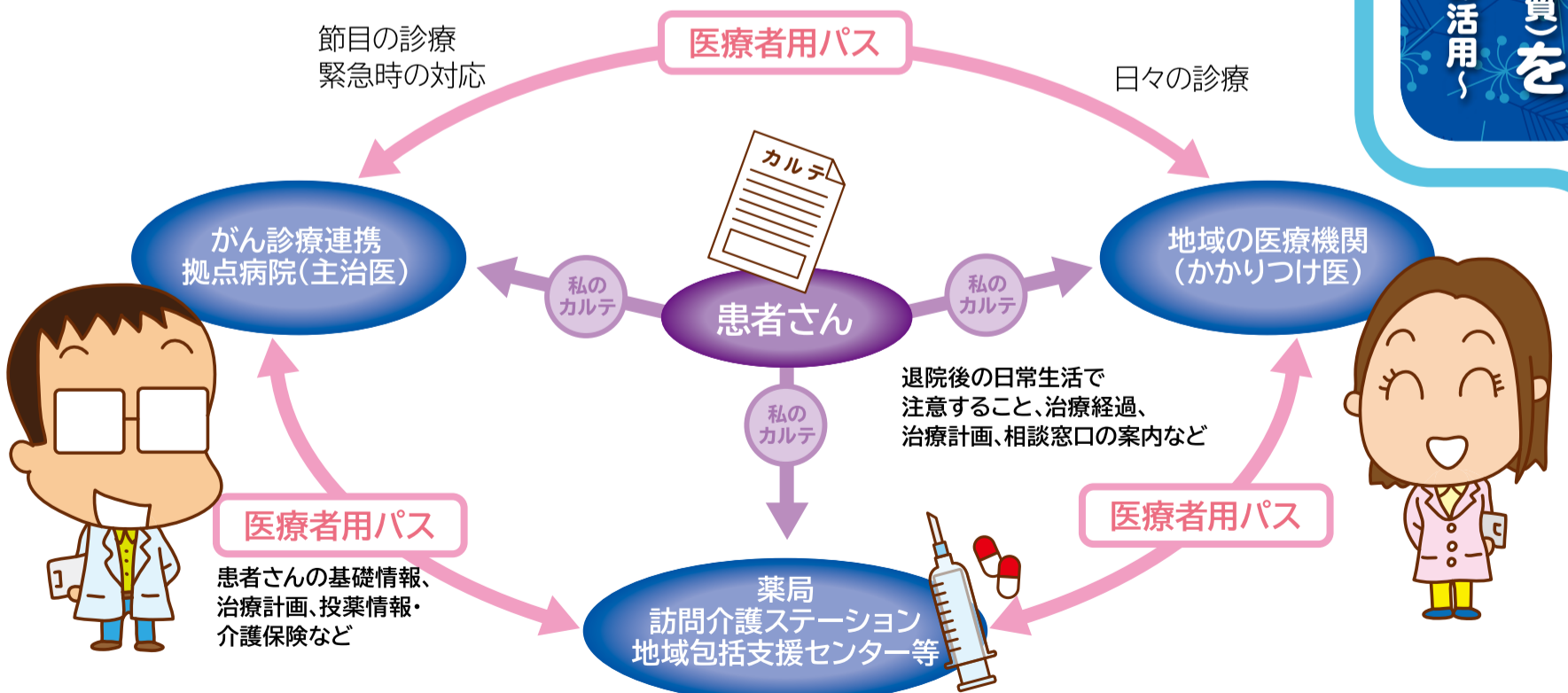
4月からの試行的運用では、青森県統一パスの試案を作成し、県内に6か所あるがん診療連携拠点病院(県立中央病院、弘前大学医学部附属病院、八戸市立市民病院、三沢市立三沢病院、むつ総合病院、十和田市立中央病院)及びこれらの病院と連携する地域の医療機関との間で行われています。

試行的運用の対象となる「がん」は、胃がん、大腸がん、肝がん、乳がん、肺がんの5つです。

がん診療連携拠点病院で専門的な治療を終えた後、がん診療連携拠点病院から発行される「私のカルテ」と呼ばれる患者用のがん地域連携パスを携帯して、地域の医療機関を受診する際、検査結果や治療経過等を記載していきます。この「私のカルテ」により、患者本人が治療状況や今後の治療の道筋を理解できるようになります。

また、医療機関や地域包括支援センター、訪問看護ステーション等医療・福祉の関係機関が、お互いに「医療者用パス」によって患者の治療計画や診療情報を共有することができ、必要なサービスを適切に、切れ目なく提供することができます。

がん地域連携パスは、治療を受けながら地域で安心して生活していくがん患者やその家族を支えていきます。



※詳しくは <http://aomori-kenbyo.jp/activity/gan/ganpass>

県立中央病院 患者・家族相談支援室 ☎017-726-8377